

これまで3回のALPS処理水の海洋放出は、計画通り、安全に行われています。

- ▶ 希釈・放出前に、ALPS処理水の放射性物質濃度(トリチウムを除く)が、安全に関する規制基準を満たしていることを確認しています。(下表①)
- ▶ さらに、トリチウム濃度が規制基準の1/40を下回るまで、ALPS処理水を大量の海水で希釈し、海洋に放出しています。(下表②)
- ▶ 海域のトリチウム濃度は、運用上の指標(放出停止判断レベル:700ベクレル/リットル)を大きく下回っています。(下表③)
- ▶ 2023年度はALPS処理水を4回放出する予定です。2023年11月までに3回の放出を終え、4回目の放出は2024年2月下旬を予定しています。(2023年度は合計で約31,000m³、トリチウム総量で約5兆ベクレルを放出予定)

[放出実績] 1回目:2023年8月24日~9月11日 2回目:2023年10月5日~10月23日 3回目:2023年11月2日~11月20日

処理水の放出量 (1~3回目合計)	トリチウム総量 (1~3回目合計)	①トリチウム以外の放射性物質の濃度		②希釈後のトリチウム濃度*2 (1,500ベクレル/リットル未満*3)		③海水のトリチウムのモニタリング結果 (迅速測定*1)	
		告示濃度比総和*4	規制基準	最大220 ベクレル/リットル	最大22 ベクレル/リットル	発電所から3km以内	発電所正面から10km四方
23,351m ³	約3.2兆ベクレル	0.25~0.28	< 1			最大22 ベクレル/リットル	検出せず

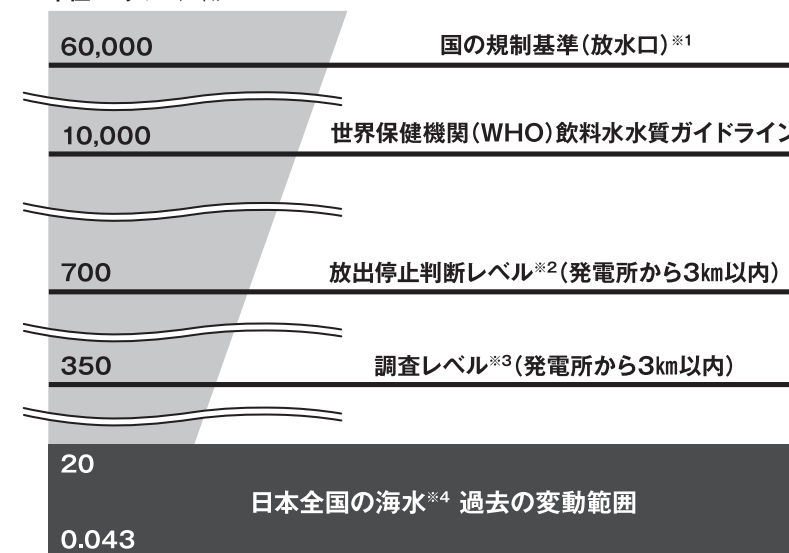
*1. トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定
*2. 海水配管にて採取した試料のトリチウム濃度(「不確かさ(分析データの精度)」を考慮した値)

*3. 1,500ベクレル/リットル:政府方針で示された海洋放出のトリチウム濃度の上限(国の規制基準の1/40)
*4. 各種類の濃度の法令上の限度に対する比を求め、それを合計したもの

●引き続き、ALPS処理水の海洋放出に関する情報を正確かつわかりやすい形で国内外に発信してまいります。

[参考]トリチウム濃度の比較

単位:ベクレル/リットル



*1. 原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓ飲み続けた場合に一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた国の規制基準
*2. 「放出停止」を判断する際の指標
*3. 「放出停止判断レベル」に達する前の段階において必要な対応を取る指標
*4. 出典『日本の環境放射能と放射線』(期間:2019/4~2022/3)



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
▶[処理水ポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>



▶[放出計画および放出実績]
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/_assets/images/measurementfacility/release_plan.pdf



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22